

謹賀新年

新年あけましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちあふれた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、日頃より市政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症への対応に注力しつつも、観光需要喚起策などを実施し、本市としましても経済活動へのアクセルを強く踏み出し始めたところでしたが、感染拡大の波が繰り返し押し寄せ、全国的に感染者が増加しました。鳥羽市においても、市民生活や地域経済に多大な影響を与え、その都度、対応に奔走した一年でした。医療従事者をはじめご協力をいただいた皆様におかれましては、大変厳しい環境の中、今もなお感染症対応に真摯に向き合っていただいておりますことに感謝申し上げます。いまだ先行きが見通せない厳しい状況が続いておりますが、市民の皆様の生命と健康を守ることを最優先に考え、市民生活の安定と経済活動の回復に向けて取り組みを進めてまいります。

さて、わたしが市長に就任してから、はや6年近くが経ちました。国全体が少子高齢化の対応に追われる

中、本市では地域共生社会の実現を目指すことでこの大波をのりこえたいと考えています。また、プラスの方向としては、海のシリコンバレー構想を全面に打ち出し、魅力あふれる鳥羽らしい花を咲かせるための種まきをしてきました。そしてその種がようやく芽吹き始めたところでございます。

これらの取り組みは、人口減少や少子高齢化が進む時代において、持続可能なまちづくりに大きく寄与する究極の地方創生であると確信しております。新たな価値を創造するとともに、その価値が市民の皆様の誇りとなり、そして魅力あふれる鳥羽市となるよう、皆様と一緒に作り上げてまいります。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、皆様にとって、本年が健やかで希望に満ちあふれる年となりますことをお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

鳥羽市長

中村 欣一郎

新年、明けましておめでとございます。

年頭にあたり、鳥羽市議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えられることとお慶び申し上げます。

また、日頃は、市議会の活動に対し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3月より、議員定数の適正化に向け、議会改革推進特別委員会において協議を進め、6月議会にて、議員定数を現行の14人から13人へ削減することといたしました。本年は改選の年となりますが、定数の削減により議会力の低下を招かぬよう、議員全員が一丸となり市民生活向上を第一に考え、「オール鳥羽市議会」として鳥羽市の発展に努めてまいります。

また、10月には、加茂小学校6年生18人による「子ども議会」が本会議場にて開催されました。

将来有権者となる子供たちによる活発な討論が行われ、議会に直接触れることで、議会や、「自分たちの暮らすまち」へ関心を持ってもらえたのではないかと感じております。

全国的な話としては、新型コロナウイルス感染症も収束には至らず、加えて、世界的な需要増加、ウクライナ情勢、原油価格の高騰、円安など、様々な要因に

伴う物価高騰により、市民生活・経済活動・教育現場等で様々な影響を受けました。

その一方で、これまでの自粛ムードから抜け出すため、新型コロナウイルスとの共存による経済活動の推進に向け動き出した年でもありました。

議会といたしましても、市民の皆様が安心して生活できるよう、「住み続けられるまちづくり」と、脱炭素社会を見据えた鳥羽市の産業発展に努めてまいります。

今後より身近な分かりやすい議会となるよう、その役割を十分に果たしてまいりたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本年が市民の皆様にとりまして、穏やかにより良い1年となることを心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

鳥羽市議会議長

木下 順一